

おやじバンドコンテスト 出場バンド決定!

本公演
10月3日(日)
14:00

アピオス
New
プロジェクト



YES BAND

♪ 奇跡
♪ 絆~kizuna~



O.M.B

♪ ダイアナ
♪ レッツツイスト アゲイン



THE OVERDOSE

♪ Freedom Nation
♪ 頭のイカした××××



高崎Rockers

♪ イカレちまったぜ!!!
♪ 雨上がりの夜空に

おやじバンドコンテストが動き出した。コンセプトはおやじ復権だそう。要は“おやじ”に光りを当てたい。カッコいい“おやじ”を見せたい!! ということも、今や“おやじ”は闇の中なのか!? テープによる審査で応募13組中8組が選考を通った。選考に当たった各委員の感想は、「どのバンドも凄くレベルが高く悩みました」「クオリティーやパフォーマンスなど、当日来たお客様に喜んでもらえるかを考え選ばせていただきました」「何よりも音楽が好きで好きでという各バンドの方達の情熱が見えて嬉しかったです」とのこと。本番が今から待ち遠しい。 <みのんぱ編集局 生稲咲子>



表現座SE☆COM

♪ お富さん
♪ 恋のバカンス



Metavorix

♪ Doctor Doctor
♪ 2億4千万の瞳



LA☆MISSYU

♪ 明日もガンパロウ
♪ チェンピオン



LEVEL ONE.

♪ 銃爪
♪ ブーメランストリート

おやじバンドコンテスト: 入場無料(但し座席指定整理券が必要。8月8日(日)9:00~ アピオスで配布開始) ※上記曲目は都合により変更する場合があります

REPORT 2010.6.24 みの〜れ森のホール 小学校6年生 芸術鑑賞

TAP DO! -みの〜れにきてたも〜れ-

弾けるようなタップのリズムのオープニングに、大きな拍手とどよめき! 市内12校の6年生がみの〜れにて、タップや、マジックショーを鑑賞しました。「言葉をまったく使わないのに、胸に響くものがあるんだなあと思いました」「見る前は、全然興味なかったけど、やってみたくなった」などの感想が寄せられました。割れんばかりの拍手と掛け声に、会場全体がひとつに盛り上がった2時間。帰路につく6年生の瞳がキラキラ輝いて見えました。 <みのんぱ編集局 小原エミ>



「チケットもぎり」や「客席案内」など、劇鑑賞の体験をする子どもたち



凄技! TAP DO! のパフォーマンス

REPORT

作・演出たかぎひろみち オリジナル舞台劇 わかくさのうた

戦後、間もない貧困の日本を舞台に、戦災孤児たちの生きる姿を描く物語。演じるのは、飽食の時代を生きる現代の子ども達。この難しい役に自ら志願したそう。稽古が本格始動したのは4月から。週末は泊り込みで合宿。「役」の心境に近づくために「はらべこ合宿」を敢行、たったひとつの小さなオニギリで、早朝から夜中まで稽古漬けの1日を過ごした事もある。「キツイけど楽しい」「役になりきってお客さんに感動を届けたい」と子どもたちは笑顔で答える。大人顔負けの役作りである。夏の暮れには、一際輝くこの子達が観れそうだ。 <みのんぱ編集局 大山貴久>



小美玉市四季文化館(みの〜れ)

2010年8月29日(日) 18:30開演

◇一般2,000円 学生1,000円

◇未就学児入場不可

◇17:30よりホワイエにて

「若手作家達の戦争画展」を開催

主催「わかくさのうた'10」上演実行委員会

共催 小美玉市



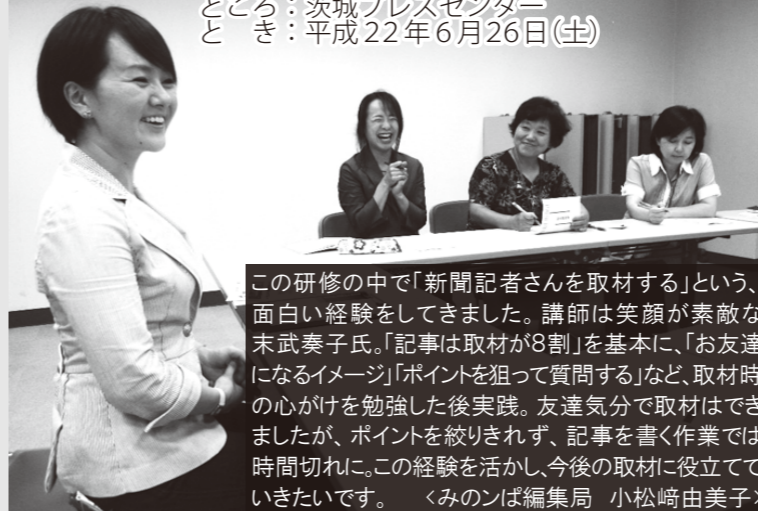
合宿所で稽古に励む子どもたち

あらすじ

西暦2010年。とある劇場。一人の老人が死の直前に見たもの。それは64年前に出逢った「あの人」の幻想。あの時老人は、家を焼かれ親を亡くし仲間と共に懸命に生きていた…。戦後日本を舞台に戦災孤児たちが繰り広げる「生」と「命」の物語。

みのんぱ編集局員が研修に行ってきました 記者から学ぶ「取材の仕方」

先生: 末武奏子さん(茨城新聞社学芸部記者)
ところ: 茨城プレスセンター
とき: 平成22年6月26日(土)



この研修の中で「新聞記者さん取材する」という、面白い経験をしてきました。講師は笑顔が素敵な末武奏子氏。「記事は取材が8割」を基本に、「お友達になるイメージ」「ポイントを狙って質問する」など、取材時の心がけを勉強した後実践。友達気分では取材はできませんが、ポイントを絞られず、記事を書く作業では時間切れに。この経験を活かし、今後の取材に役立てていきたいです。 <みのんぱ編集局 小松崎由美子>



みのんぱ編集局では、取材して記事を書く市民記者を常に募集しています。取材を通して新しい出会いや発見があるこの活動にぜひ参加しませんか? お問い合わせ・お申し込み みの〜れ井坂 TEL 0299-48-4466

アピオス小劇場vol.04(公演日:2011年1月22,23日) 演劇集団スリーサイズ第12回公演 「召喚オビデと恋した娘」 プライベート

〜朗読劇の上演と劇団の紹介を行います〜

とき: 8月21日(土)14:00
ところ: 小川文化センター(アピオス)2F会議室 / 料金: 無料
内容: ①第11回公演「あおいなつのおい」から群読劇「青い夏」を上演
②今までの歴史や活動など、劇団の紹介
③「召喚オビデと恋した娘」の紹介

【演劇集団スリーサイズ】
水戸市と小美玉市を拠点に活動する社会人劇団。発足11年目。

【召喚オビデと恋した娘】
ある漫画家とアシスタントとのシチュエーションコメディ。本意ながらオカルト系のヒット作「召喚オビデ」を連載している。新作をたきつけるアシスタント、不条理な恋におぼれるアシスタント、行きがけのピザ屋や野良猫もアシスタント、果てはオビデを召喚してしまうアシスタントまでいて、現場は大混乱へ…



いつでも夢を。

夢 はかなうもの。夢探し、自分探しにもっと多くの人々がみの〜れに集って一と語る中村さん。仕事の都合で土曜日しか活動できないので、条件の合う「光と風のステージCueプロジェクトチーム」に参加。ライブの企画運営を行なっている。また、みの〜れ自主事業の

ポスターやチラシデザインを担当するart minoleの一員としても活動しており、10月に開催されるマニティコンサートのポスターを担当する(要必見)。「みの〜れが10歳になるときには『文化がみの〜れ物語“2”』をぜひ作って!」どこまでも夢いっぱいの中村さんです。 <みのんぱ編集局 福島ヤコビ>

中村 薫さん

光と風のステージCueプロジェクトチーム
みの〜れ支援隊「art minole」

